

HOTEL THE HOTEL [東京都新宿区]

繁華街ビル型レジャーホテル



(有)アークトップ
支配人
飛澤智治氏

集客激減のなかでもしっかり対策実施 将来を見据えたりリニューアル工事も

東京・新宿歌舞伎町のレジャーホテル街に立地する「HOTEL THE HOTEL」は、2014年にオープンした全22室のビル型レジャーホテル。カップル客以外の利用客も多く、インバウンド客の姿が目立っていた。3月以降インバウンド需要が消失し、4月以降は前年同月比5～7割減となっている。

新型コロナウイルス対策は1月からすでに着手している。まだ新型コロナウイルス感染症の情報が少ないなか、支配人の飛澤智治氏は大手デパートやショッピングセンターなどの感染防止対策を調べ、それらを参考にアルコール除菌をベースとした対策を図った。

「客室清掃に関しては以前からしっかり行なっていましたが、今年の1月以降は、お客さまが手で触る部分をアルコールで重点的に清掃・除菌させています」。

清掃時間は従来より多くかかるが、客足が落ちているぶん、時間をかけて「衛生管理」と「三密回避」に配慮した清掃をしている。

ホテル共用部では換気の徹底を図っており、フロント回りでは最低でも1時間に1回、10分程度の換気を行なっている。タッチパネル式の客室選別機は、利用客が使用するたびにスタッフが除菌用アルコールなどで清掃している。

従業員の感染予防対策として1月からマスクと手袋を支給して着用を義務化。各種感染防止対策はガイドラインとしてマニュアルにまとめた。また感染拡大に

伴い、従業員にヒアリングを実施した。

「家族がいる従業員のなかには勤務を自粛したいという人もいたので、その意向は受け入れました。逆に、この期間により多く働きたいという従業員もおり、結果的にシフトに過不足なくバランスがとれました」(飛澤支配人)。

一方お客さまに対しては、ホテルのWEBページで感染予防対策の実施内容を伝えるほか、エントランスにPOPを掲示して“安心・安全に利用できるホテル”をアピールしている。

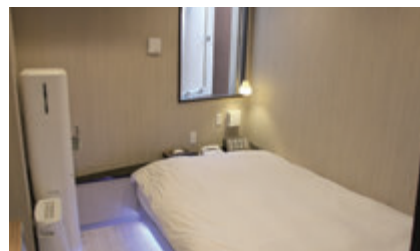
集客が激減した4月20日からは、「密閉」空間を改善するために空調設備と建物のリニューアル工事を開始。細かな設備の修繕などを行ない、インバウンドに頼らない国内観光客をターゲットにした集客回復策を見据えている。



フロントで感染防止対策のインフォメーションと除菌用アルコール設置



客室には抗ウイルス・抗菌おしぼりサービスを実施



三密を回避するため客室の窓を開放している



客室清掃はマスクと手袋着用、除菌用アルコールで衛生管理を徹底



洗面台やトイレ便器も必ずアルコール除菌



バックヤードにはPOPで従業員の衛生管理を徹底